

平成 15 年 6 月 18 日

各 位

新日化サーマルセラミックス(株)

**“ 日本・アジア地区で初となる
Bio Soluble Fiber (生体溶解性繊維) の生産を開始 ”**

新日化サーマルセラミックス株式会社(社長:近藤裕行)は、親会社である The Morgan Crucible Company plc(英国)からのライセンスを受け、同社の世界戦略商品である Bio-Soluble Fiber(バイオソルブルファイバー:生体溶解性繊維)「商品名: SUPERWOOL®(スーパーウール)」の生産に日本・アジア地区で初めて成功し、当社堺工場(大阪府堺市)においてこのほど本格的な商業生産を開始いたしました。

船舶や建築用をはじめ、自動車用部品向けなどに広く使用されているセラミックファイバー(高温用耐火断熱材)の代替として、今後、当社の主力商品へ育ててまいります。

特にヨーロッパでは、作業環境と人体への健全性から「SUPERWOOL®」の使用が急速に拡大しており、モルガン社のファイバー販売の6割を占めるに至っています。

今後は環境先進国である日本においても、同様の動きが加速するものと確信しており、これまでの輸入販売に加え、日本・アジア地区をターゲットとした生産拠点を確保すべく、堺工場において生産体制を整えたものです。これにより「SUPERWOOL®」の生産は、ヨーロッパ(フランス・イタリア)、南北アメリカ(USA・メキシコ)、アジア・オセアニア(日本)の三拠点体制となります。

5月下旬から2週間にわたり行われた、初の本格商業生産において、約150トンの製品を確保するなど、高い生産性が確認されるとともに、断熱性能や強度等においてもフランス工場の製品を凌ぐ、優れた品質を実現しています。

現在、日本におけるセラミックファイバーの生産量は、年間約15,000トンであり、その内「SUPERWOOL®」の特性を生かし使用材料の安全性について厳しい用途(船舶・建築用耐火被覆製品、自動車用部品、家庭用電化製品等)約5,000トンについては、セラミックファイバーからの代替が速やかに進むものと考えております。既に、耐火被覆向けに「商品名: SUPER WOOL® Fire Master® 607(各国船級認定品)」として大手造船メーカー(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド殿へ、約110トンの納入が決定しており、引き続き日本国内への販売はもとより、アジア地区への輸出の本格化などによって、3年後をめどに年間2,500トンの販売を計画しております。

新日化サーマルセラミックス株式会社 概要

設 立 : 1997年4月1日

株 主 : 新日鐵化学(株) 50%

The Morgan Crucible Company plc(英国) 50%

本 社 : 東京

事業所 : 堺工場(大阪府堺市)、大阪支店、福岡支店

資本金 : 4億9千万円

< ご連絡先 >

新日化サーマルセラミックス(株)

本社営業部 大霜

TEL 03-5759-2758

www.thermalceramics.co.jp